科目名	基礎演習(4) (学科/商)		
担当教員	須崎 清剛 (スザキ キヨタカ)	単位数	4単位
開講期間	春学期/秋学期	授業形態	演習
使用言語	日本語	開講学年	1年次のみ
開講学科・カリキュラムコード※	商SS1		
資格科目			
授業概要	<p>履修者が以下の活動を通して大学生生活を豊かにするための下記到達目標を達成できるよう授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春学期では教科書の内容を中心に、大学生活において必要なスキルである「ノートの取り方、テキストの読み方、資料の探し方、レポートの書き方」を学ぶ。その中でオフィスソフトの基本的な操作方法も身につけていく。 ・春学期終盤から秋学期においては、いくつかのグループに分かれ、経営・商学に関するデータを有効に活用するための「統計学の基礎、データ解析の基礎、あるいはそれらの理解を深めるための基礎数学」の中からテーマを選び、テーマに関する「意味、利点、問題点、活用例」などの調査と議論を行う。中間発表も経て教員や他学生の意見を踏まえた上で、最終的なプレゼンテーションを行う。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活における基本的なスキルを身につける。 ・他者と協力し、積極的に調査と議論を行うことができる。 ・他者の発表に対し、自分の意見を述べることができる。 ・レポートや発表により、まとめた情報や自分の考えを述べることができる。 ・何か1つ得意な分析方法、あるいは深い知識を得る。 		

カリキュラム学科 2025年度 春学期 学部 商学部 商

	商学科DP	関与度
1	企業をはじめとする組織の諸活動について、その活動の運営・管理や維持・発展について考察するために必要となる知識や理論を習得している。	
2	企業をはじめとする組織の諸活動について、その社会的貢献や責任、歴史や環境等と関連づけて理解したり、文化的多様性の存在を理解したりする能力を身につけている。	
3	柔軟な適応力や総合的な判断力、確かな実践力を身につけ、高いコミュニケーション能力を有して他者と協働することができる。	◎
4	企業をはじめとする組織の諸活動について、問題を発見し、その解決に必要な多様な情報を収集・分析することができる。さらに、一定の根拠に基づき、複眼的・論理的に思考することによって、説得力のある分析や解決策を提案できる。	○
5	知的好奇心、協調性やリーダーシップ、自己管理能力などを兼ね備え、生涯を通じて自律的に学び続けることができる。	△

授業内容	
第1回	春学期のガイダンス
第2回	大学での学び方
第3回	ノートの取り方
第4回	テキストの読み方
第5回	資料の探し方
第6回	図書館の使い方
第7回	Wordの使い方
第8回	Excelの使い方
第9回	PowerPointの使い方
第10回	メールの書き方

第11回	レポートの書き方1
第12回	レポートの書き方2
第13回	秋学期に向けてテーマを決める
第14回	秋学期に向けてテーマを決める・準備する
第15回	春学期のまとめ
第16回	秋学期のガイダンス
第17回	グループでのまとめと議論1
第18回	グループでのまとめと議論2
第19回	中間発表1
第20回	中間発表2
第21回	中間発表を踏まえてグループでの議論
第22回	中間発表を踏まえてグループでの議論・方針変更
第23回	レジュメの書き方1
第24回	レジュメの書き方2
第25回	スライドの準備
第26回	スライドの準備、発表の練習
第27回	プレゼンテーション1
第28回	プレゼンテーション2
第29回	プレゼンテーションを経て議論する
第30回	まとめ

事前事後学修(具体的な内容及び必要な時間)	進行状況に応じて、次回までの課題を指示する。学んだ内容は授業資料とともにまとめ、自分なりのノート・資料の作成を勧める。事前事後の学修には、それぞれ2時間程度必要になる。
試験や課題に対するフィードバック方法	わからないことや質問があれば電子メールにて受け付ける、もしくはオフィスアワーを利用すること。
アクティブ・ラーニング	PBL（課題解決型学修）／プレゼンテーション／ディスカッション、ディベート／グループワーク
実務経験を生かした具体的な授業内容	
学修支援システムLMS（manaba）の活用	manabaでの小テストの実施／manabaでのレポートの回収／manabaに講義資料・コンテンツの公開／その他manabaの機能の活用
受講上の注意点	履修者の作業進行状況によって、授業計画中の議論や発表の時間は増減することもある。
教科書	世界思想社編集部 編、大学生学びのハンドブック [6訂版]、世界思想社、1,320円（税込）
参考文献	授業中に適宜紹介する。

成績評価方法	評価割合
A.定期試験	0%
B.レポート	25%
C.小テスト	0%
D.発表(プレゼン・スピーチ等)	25%
E.平常点・授業への貢献度	50%

F.その他		0%
成績評価についての補足		
担当教員との連絡方法	大学アカウントのEメール (@kumagakuのアドレス)	
連絡方法 (その他)		
添付ファイル		

※カリキュラムコードは、各学科の群（分野）、必修か選択、開設学年を示しています。詳細は履修登録ガイドを参照してください。